

訓子府町認定こども園の教育・保育指針

わくわく園だより No.18
R5年8月10日(木) 文責: 牧野

シリーズ「いきいき子育て」 「思いやり」の発達を理解する

ネット上の誹謗中傷に加え、回転すし店や公共施設での迷惑行為が横行し、日本人の公共規範の低下が問題になっています。「思いやりの心」が育っていないことが原因かもしれません。

◎**幼児期**は、自分と他人の区別が明確ではないので、自分も他人も同じことを考えていると思っています。

◎**小学校低学年**になると、他人と比較して、自分と他人の違いが分か



ってきます。ただし、笑っているからうれしい。泣いているから悲しいといった程度で、相手の心情を推し量ることはまだできません。

◎**中学年**になると、他人の視点をかなり推測できるようになります。A君は、ぼくのことをきっと〇〇だと思っている。ぼくは、A君のことを〇〇だと思っているだろう。と互いの気持ちを推測できるようになります。

◎**高学年**になると、「私」と「あなた」といった二者関係だけでなく「彼」「彼女」といった第三者の気持ちを推測したり、自分自身を客観視することができるようになります。

◎**中学生**になると学級、学校、社会、日本人として、さまざまな立場に立って考えられるようになります。

「思いやり」とは、自分の視点だけでなく、相手や様々な人の視点を理解する力です。この発達レベルが低いと暴力をふるったり、その場から逃げるといった行動をとります。しかし、「思いやり」が発達すれば、「暴力」から「命令」「説得」と変化し、また「逃避」から「従順」「妥協」へと変化するのです。最終的には互いのコミュニケーションを通して「調節」する行動をとるようになります。「思いやり」の心が育てば問題行動もなくなります。年齢と共に「思いやりの心」は成長するものです。迷惑行為をする輩は、幼児期のままで大人になっていないのです。親や教師は、その年齢にあった指導をすることが必要です。



水害時・洪水時の避難訓練をします。保護者の皆さんにお願いします。

各地で集中豪雨や台風による被害が頻繁しています。訓子府でも起こる可能性はあります。9月に洪水を想定した避難訓練を行います。避難場所は、役場庁舎(高い建物)の2階に避難します。

洪水に限らず、火災や地震等の災害が起きた場合の保護者への連絡、お迎えの要請をどうするか検討しました。その時の状況によって異なりますが、速やかにコドモン等を通じてご連絡します。問い合わせの電話が園に殺到すると対応しきれませんので、園からの連絡を待って行動するようにお願いします。



体調を崩して早退「お迎えをお願いします。」

ここ最近、急激な気温差が原因なのか? 登園後に発熱、嘔吐、下痢等で、急遽、お迎えに来てもらうケースが続いています。こども園では、園児の命と健康を守ることを一番にしています。職員は、医師ではありませんので、治療することはできません。勝手に病院に連れていくこともできません。傍にいて保護者さんが来るまで見守るだけです。お仕事の最中に大変恐縮ですが、園からの電話に対応していただきますようお願い致します。ぐったりしている子もお母さんの顔を見ると、元気を取り戻します。帰宅後の様子についてもお知らせいただくと助かります。

8月14日(月)から 8月18日(金)までの予定

- 14日(月)
- 15日(火) 夏季休業日最終日
- 16日(水) お集まり会 職員会議A
- 17日(木) 避難訓練(不審者対応) 職員会議B
- 18日(金) 誕生会

* 暑さもお盆まで?だとよいのですが…。

日テレ「所さんのダーツ
の旅」が訓子府に!

8月9日収録

9月13日放送予定です。

